

平成27年度 事業報告

【基本方針】

「教育に携わる者の福祉の増進を図ることによって、大阪府下の学術の振興をはかり、教育、スポーツ等を通じて大阪府民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養すること」を目的として以下のとおり運営した。

1 公益目的事業

会員法人の教職員へ支給する退職資金給付事業

大阪府内における私立学校の設置者に対し、その私立学校に勤務する教職員に支給する退職金に必要な資金の交付を行い、私立学校の教職員が安心して教育活動に専念できる環境を整備することと学校教育の基盤整備を図ることを目的に本事業を運営した。

【 決算概要 】

一般正味財産増減の部では、経常費用において、退職資金給付費が予算対比 756,656 千円下回ったことと等により、退職資金事業積立資産に、812,634 千円を積立てることが出来た。次年度運営資金として、694,472 千円を期首残高として繰越した。

指定正味財産増減の部では、受取入会金 1 人当たり千円で 1,743 千円、基本財産運用益で 1,081 千円、基本財産の評価益で 10,418 千円、合わせて 13,242 千円の増額をはかることが出来た。

正味財産期末残高は、810,256 千円となった。

貸借対照表では、平成 27 年 6 月 25 日に新・私学会館が竣工したことにより、その他固定資産の建物で 662,642 千円、構築物で 21,097 千円、什器備品で 113,224 千円、リース資産で 2,790 千円増加した。

(1) 退職資金給付状況

平成 27 年度（第 47 年次）の教職員に対する退職資金は、最高、平均標準給与の千分の 51.4950 の給付率により学校法人等に対して給付を行った。

(単位：千円)

区分	給付人員	給付金額	備考
小・中・高	421	2,790,339 千円	
幼	816	733,005 千円	私学関係団体を含む
合計	1,237	3,523,344 千円	予算額 42.8 億円

(2) 学校法人等の異動

区分	平成 27 年 3 月末	姉妹校園 の増設	廃 止	平成 28 年 3 月末	備 考
小・中・高	1 8 2	1	2	1 8 1	
幼	3 6 2	4	5	3 6 1	
合 計	5 4 4	5	7	5 4 2	

- ① 新規加盟法人（加盟金 1 万円徴収） 平成 27 年度の新規加盟はありません。
 ② 新設校・園の加入 小・中・高 1 校、 幼 4 園
 ③ 休・廃校園 小・中・高 2 校、 幼 5 園

(3) 教職員の異動

区分	平成 27 年 3 月末人員	平成 27 年 度							平成 28 年 3 月末人員
		加入	転入	復職	退職	転出	休職	取消	
小・中・高	6,029	505 (4)	31	23	425 [4]	30	48	0	6,085
幼	5,481	1,238 (20)	47	38	898 [20]	47	69	6	5,784
合 計	11,510	1,743 (24)	78	61	1,323 [24]	77	117	6	11,869

注 1：[]内数値はみなし退職者数、()内数値はみなし退職後の再加入者数

みなし退職・・・勤続 47 年に達した加入者、並びに身分変更等で大幅に給与額が減少した加入者が一旦退職金額を確定保留し、新たに 1 年目の掛金率から開始、実際の退職時に合算して給付することにより、平均標準給与減少による給付の減額を抑制できる制度。

注 2：平成 27 年度末現在の休職者総数は 265 名、内 27 年度中に申出のあった休職者は 117 名

(4) 基金保有額と責任準備金に対する保有割合

基金保有額	14,146,933 千円	(平成 28 年 3 月 31 日現在)
	(未収負担金を含む)	
責任準備金	28,622,208 千円	(平成 27 年 12 月 31 日現在)
保有割合	0.494	

- 年金数理的計算において算出された「責任準備金」は、平成 27 年 12 月 31 日評価基準日現在 28,622,207,909 円となっております。なお、年金数理的計算は、みずほ総合研究所株式会社に委託し、厚生年金保険法に規定する要件を備えた年金数理人が、将来の給付現価から負担金現価を控除して算出しております。

(5) 財政再建について

公益目的事業である退職資金事業は、事業の永続性に繋がる安定的な財政基盤の構築のため、退職資金給付に充当する積立資産の増額が求められています。

平成 26 年 4 月に実施した負担金率並びに給付乗率の改定の効果が現れ、平成 27 年度も前年に引続き黒字収支となり、退職給付積立資産への繰入ができました。

① 大阪府への要望

大阪府補助金交付率の国標準額（千分の 36）への復元のため大阪府知事へ平成 27 年 12 月 21 日付で総連合会理事長と構成 3 団体の代表（中高連・小学校連合会、幼稚園連盟）と連盟で要望書を提出しました。

② 資産運用について

退職資金事業の資産運用は、これまで国債を中心とした運用を行ってきた。しかしながら運用利率の低迷が続くなか、売却益を得るため少しでも条件の良い国債へと買い替えを行ってきたが、それも限界に達しており、減額となっている補助金収入を補うため、資金運用管理規程の範囲内で、利率の良い外国債券への買い替えを行ったことが、積立資産の増額に貢献しました。

(6) 新規退職資金管理システムの導入

事務処理のスピード化と効率化、会員校園の利便性並びに事務負担軽減に繋がる、データベースと会員をオンラインで繋ぐ新しい退職資金管理システムの導入について検討を重ね、平成 27 年 3 月末退職者の事務処理から試験的に事務局内で導入し、旧システムとの整合性を確認した上で、退職資金事業に加盟している会員に対し、平成 27 年 7 月 21 日～8 月 10 日にかけて新システムの導入と操作方法についての講習会を開催し、約半数にあたる 282 校園の参加を得て、9 月の標準給与基礎届から各会員校園による運用を開始しました。

2 収益事業等

(1) 管理運営事業

① 大阪私学会館の再整備

「新・私学会館」は、次の半世紀に向けた私学関係者の日常的な活動拠点並びに府民の文化活動への支援・充実をはかるとともに、より利便性の高い貸会議室を提供できる施設を目指して、平成 26 年 12 月 3 日に起工式を行い、平成 27 年 6 月 12 日に予定通り引渡され、6 月 25 日に竣工式並びに私学関係者への内覧会、29 日には貸会議室の得意先へ向けた内覧会を開催し、7 月から会館の管理運営事業を開始しました。

② 貸室事業

a 類ビルへの移転期間中（27年4月～6月）

- ・私学関係団体は、大手前類第一ビルの5・6・7・9階の各フロアーを利用した。
- ・私学関係団体等に対する大手前類第一ビル「貸室」利用は次のとおりです。

貸室名	面積 m ²	団体名
9階中央	94.88	一社) 大阪府私立幼稚園連盟事務センター
9階南	99.64	大阪私学経営者協議会
5階 6階南	99.64 <u>316.17</u>	公財) 大阪府育英会
計	415.81	

- ・私学総連合会構成団体の大手前類第一ビル「貸室」利用は次のとおりです。

貸室名	面積 m ²	団体名
7階北・中央	60.96	一社) 大阪府私立幼稚園連盟
	<u>42.68</u>	
計	103.64	
5階北・中央の1/2 7階中央	108.27 45.06	大阪私立中学校高等学校連合会 (大阪私立学校人権教育研究会)
7階南	54.91	一社) 大阪府専修学校各種学校連合会

b 「新・私学会館」（27年7月～28年3月）

- ・1、2階の各フロアーを、私学総連合会の関係団体並びに構成団体の事務所として利用しています。

- ・私学関係団体等に対する新・私学会館の「貸室」利用は次のとおりです。

貸室名	面積 m ²	団体名
2階事務室 3	75.9	大阪私学経営者協議会
2階事務室 1・2	402.9	公財) 大阪府育英会

- ・私学総連合会構成団体の新・私学会館の「貸室」利用は次のとおりです。

貸室名	面積 m ²	団体名
1階事務室 6	44.5	一社) 大阪府私立幼稚園連盟教育研究所
1階事務室 7	64.4	一社) 大阪府私立幼稚園連盟
2階事務室 4	98.4	一社) 大阪府私立幼稚園連盟事務センター
1階事務室 1	68.5	一社) 大阪府専修学校各種学校連合会
1階事務室 2	58.9	大阪私立中学校高等学校連合会 (私学人研)
1階事務室 5	70.9	大阪私立中学校高等学校連合会
1階事務室 4	13.7	大阪私立中学校高等学校連合会 (印刷室)
3階会議室 311	21.9	大阪私立中学校高等学校連合会 (会議室)

③ 貸会議室事業

a 大手前類第一ビル

- 各種団体等が使用した貸会議室料（類ビル9階会議室）の発生高は次のとおりです。
(単位：千円)

区 分		平成 27年度 (4月～6月)
貸会議室料収入発生高		1,339千円
利用者別	官公庁・公益法人	0.00%
	私学及び同団体	88.50%
比率 (%)	民間企業及びその他一般	11.50%

b 「新・私学会館」

- 各種団体等が使用した貸会議室料の発生高は次のとおりです。

(単位：千円)

区 分		平成 27年度 (7月～3月)
貸会議室料収入発生高		33,468千円
利用者別	官公庁・公益法人	13.97%
	私学及び同団体	64.79%
比率 (%)	民間企業及びその他一般	21.24%

- 予約システムの導入

貸会議室予約業務の効率化と、インターネットを介し顧客への利便性を向上させ、稼働率の向上を図るため、台帳による予約管理を廃止、株式会社エイ・エス・ビーの予約管理システムを導入し、平成27年6月の新・私学会館の竣工と同時に運用を開始しました。

④ 役員に関する事項

- 評議員・役員一覧 (平成28年3月31日現在)

評議員

(任期4年)

※平成29年6月改選

役 職	氏 名	現 職 等
評 議 員	植木 實	学校法人大阪医科大学理事長
	塩崎 均	学校法人近畿大学学長
	奥田 吾朗	学校法人大阪国際学園理事長
	釜谷 行藏	学校法人履正社理事長
	平岡 正巳	学校法人清風南海学園理事長
	天野 久	学校法人住吉学園理事長
	北田 和之	学校法人四條畷学園小学校校長
	矢木 一美	宗教法人日本ルーテル教会真生幼稚園園長
	岡部 圭二	学校法人高槻双葉学園理事長
	安達 讓	学校法人ひじり学園理事長
古武 一成	学校法人古武学園理事長	

役員 (任期2年)

※ 平成29年6月改選

役職	氏名	現職等
理事長	野田 賢治	学校法人浪商学園理事長
理事	谷岡 一郎	学校法人谷岡学園理事長
	山北 浩之	学校法人城南学園小学校校長
	水谷 豊三	学校法人成城学園理事長
	北川 定行	学校法人神童学園理事長
	福田 益和	学校法人福田学園理事長
監事	重山 香苗	学校法人愛泉学園副理事長
	邨橋 雅廣	学校法人邨橋学園たちばな幼稚園園長

会計監査人	有限責任あずさ監査法人
-------	-------------

⑤ 職員に関する事項

職務	氏名	担任業務	備考
館長	松藤 吉弘	総括	常勤(他団体兼務)
支配人	川崎 儉	会館運営・管理	常勤
主幹	後明 佳子	庶務	常勤(他団体兼務)
参事	鶴田 健	退職資金事業	常勤
主査	細野 勝久	〃	〃
職員	豊川 知江	経理事務	〃
事務員	河合 泰恵	貸会議室等の運営	〃
事務員	山本千恵子	〃	〃

⑥ 会議に関する事項

a 理事会

開催年月日	議事事項	結果
27.5.29	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度第1資金運用期(4月・5月)の資金運用状況報告について ○ 債券の購入について ○ 平成27年度第2資金運用期(6月・7月)の資金運用方法について ○ 平成26年度事業報告並びに決算書類(案)について ○ 新・退職資金管理システム導入に伴う運営規定の一部改定について ○ 新・私学会館 竣工祝賀会・内覧会(案)について ○ 理事長の職務執行状況について ○ 任期満了に伴う理事・監事の選任について 	了承 了承 了承 了承 了承 了承 報告 報告

27.6.27 (みなし決議)	○ 理事長並びに副理事長選定について	承認
27.7.16	○ 平成27年度第2資金運用期（6月・7月）の資金運用状況報告について ○ 債券の買い替えについて ○ 平成27年度第3資金運用期（8月・9月）の資金運用方法について ○ 理事長の職務執行状況について ○ 新・私学会館竣工祝賀会について ○ 新・私学会館建設費予算執行状況について ○ 境界線の確定について ○ 湯茶接待係採用について ○ 大阪府法務課の立ち入り検査について ○ 退職資金事業 全国退職金団体連合会 総会について ○ 退職資金管理システム導入の進捗状況について	了承 了承 了承 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告
27.9.18	○ 平成27年度第3資金運用期（8月・9月）の資金運用状況報告について ○ 債券の買い替えについて ○ 平成27年度第4資金運用期（10月・11月）の資金運用方法について ○ 理事長の職務執行状況について ○ 大阪府法務課の立ち入り検査について ○ 都道府県私学退職金団体補助に関する要望について ○ 退職資金管理システム導入状況について	了承 了承 了承 報告 報告 報告 報告
27.11.12	○ 平成27年度第4資金運用期（10月・11月）の資金運用状況報告について ○ 債券の買い替えについて ○ 平成27年度第5資金運用期（12月・1月）の資金運用方法について ○ 大阪府知事に対する要望書（案）について ○ 大阪私学会館建設事業決算概要について ○ 退職資金管理システムのセキュリティについて ○ 退職資金事業 負担金未納状況について	了承 了承 了承 了承 報告 報告 報告
28.1.18	○ 平成27年度第5資金運用期（12月・1月）の資金運用状況報告について ○ 債券の買い替えについて ○ 平成27年度第6資金運用期（2月・3月）の資金運用方法について ○ 印章取扱規定（案）について ○ 大阪私学新春互礼会 結果概要について ○ 退職資金事業 負担金未納状況について	了承 了承 了承 了承 報告 報告

28.3.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度第6資金運用期（2月・3月）資金運用状況報告 について ○ 債券の買い替えについて ○ 平成28年度 第1資金運用期（4月・5月）の資金運用方法について ○ 幼稚園連盟並びに、幼稚園連盟事務センターによる 私学会館建て替え費用（特別会費）の出資について ○ 平成28年度事業計画（案）並びに予算（案）について ○ 監事の選任について ○ 資金運用管理規定の一部改正について ○ 退職資金事業 会員法人の退会について ○ 評議員会の開催について ○ 理事長の職務執行状況について ○ 退職資金事業 収支状況概要について ○ 退職資金事業 負担金未納状況について 	了 承 了 承 了 承 了 承 了 承 了 承 了 承 了 承 了 承 報 告 報 告 報 告
--------	--	--

b 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
27.6.23	<ul style="list-style-type: none"> ○ 任期満了に伴う理事・監事の選任について ○ 平成26年度事業報告並びに決算書類（案）について ○ 新・退職資金管理システムの導入について ○ 新・私学会館 竣工について 	承 認 承 認 報 告 報 告
28.3.30 (みなし決議)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成28年度事業計画（案）並びに予算（案）について ○ 幼稚園連盟並びに、幼稚園連盟事務センターによる 私学会館建て替え費用（特別会費）の出資について ○ 監事の選任について 	承 認 承 認 承 認

⑤ 自衛消防に関する事業

「自らの建物は自らで守る」をスローガンに、より一層の防火・消防技術、防災意識の向上に努めました。

年月日	処 務 事 項
27. 6. 18	平成27年度都島防火協力会総会出席
27. 6. 30	署内警防技術練成会出席
27.11.25	都島自衛消防技術練成会参加
27.12.11	消防計画作成（変更）届出書提出
28. 1. 13	私学会館自衛消防隊の消防訓練（避難、消火）実施

(2) その他事業

1 私学振興に関する事業（相互扶助等事業・互礼会事業）

私学新春互礼会

大阪私学の発展を祈念し、私学関係者の交友を温め結束を固める為に「教育は私学から私学はひとつ」の合言葉のもと、年頭恒例行事の『私学新春互礼会』を開催しました。

・日 時 平成28年1月9日（土）午後1時～3時15分

・会 場 大阪ガーデンパレス2F 芙蓉の間

・次 第

主催者代表挨拶	野田賢治大阪府私学総連合会理事長
賛同者代表挨拶	山北浩之大阪府私立小学校連合会会長
来賓祝辞	新井純大阪府副知事 東貴之大阪市会議長
乾杯	福田益和大阪府専修学校各種学校連合会理事長
アトラクション	記念撮影、餅つき
中締	武田誠大阪私立中学校高等学校保護者会連合会会長

・出席者内訳

	案 内	出席回答	出席者	前年出席者
府 議	2 1	1 3	1 1	5
府・市	2 2	1 1	1 1	1 4
大 学	6 1	2 5	2 2	2 4
短 大	2 5	8	8	8
中 高	2 3 2	1 2 6	1 1 8	1 1 9
小 学 校	1 7	6	7	3
保 護 連	1 2 8	1 4 7	1 4 7	1 1 9
幼 稚 園	4 2 0	1 3	1 4	1 3
専・各	1 8 1	3 5	3 4	2 9
関係団体	1 2	8	8	8
計	1, 1 1 9	3 9 2	3 8 0	3 4 2